

学校名	小平市立小平第一小学校	実践年月日	平成16年12月 2 日
指導者	小熊 隆一・山倉 尚	授業コード	F - 14

学年	第6学年	教科	社会科
単元名	戦後の復興		
単元の目標	15年に渡る戦争の後、我が国がどのような復興を遂げたかに関心を持ち、日本国憲法の制定、戦後の改革などについて問題意識をもって調べ、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かる。		
単元の指導計画 (6時間扱い)	<p>戦時中と現在の東京の町を写真で比較し、どのような復興がなされたかを予想する。</p> <p>高解像度フリー写真素材 ゆん Photo Catalog 昭和館のHP</p> <p>2枚の写真を比較し、自分の学習問題をもつ。 (2時間)</p> <hr/> <p>学習の計画にしたがって問題を調べ、分かったことを発表し合う。(2時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦後の諸改革 ・新しい憲法 ・女性参政権 ・世界の中における地位の復興 など <hr/> <p>戦時中の暮らしについて分かったことを新聞にまとめる。 (2時間)</p>		
本時のねらい (1/6時間)	戦時中と現在の東京の町を写真で比較し、どのような復興がなされたかを予想するとともに、自分が調べてみたいことを学習シートに書く。		

本時の展開 (1 時間目 / 6 時間扱い)

導入	<p>本時の学習のめあてを確認する。 ~戦争の後，日本はどのような国づくりを目指したのだろうか~</p>
展開	<p>前時に見た戦争中の写真や動画を見て，戦争中の人々の生活について，前時までに調べたことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徴兵令があった ・子どもも軍事工場では働いた ・食糧不足（配給制） ・天皇が神様だった（憲法で決まっていた） ・空襲があった ・軍隊が中心になっていた。 <p>昭和館のHPの写真と動画を活用する。 写真： 焼け野原を歩く親子 新橋駅前のがれき 焼け跡に立てたバラック</p> <p>現在の東京の写真を見て，戦後日本がどのような国づくりを目指したのかを具体的に予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争の反省をして，軍中心から国民中心にした。 ・教育の制度や目的を変えた。 ・戦争をなくして，自由にものが手に入る国。 <p>高解像度フリー写真素材 ゆん Photo Catalog ビルが建ち並ぶ東京の遠景の写真</p>
まとめ	<p>自分の予想を基に，確かめてみたいことを学習シートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争中と戦後の食料の違い ・法律や教育は変わったのか ・本当に国民中心の国になったのか など

デジタルコンテンツの利用計画と利用趣旨	<p>[利用計画]</p> <p>焼け野原を歩く親子，がれき，バラックなど，前の小単元でも活用した写真や動画を示すことで，前時までの学習（戦争中の暮らしについての学習）が想起しやすいようにする。</p> <p>戦争中と現在の東京の様子を比較することで，どのような復興を目指したのかを考えられるようにする。</p> <p>[利用趣旨]</p> <p>2枚の写真の比較から，戦後の復興についての問題を作ること。</p>
---------------------	---